

各大学の入学者選抜の状況

アドミッション・ポリシーの作成状況(平成24年度入試)

○入学者受入方針の策定の状況

区分		入学者受入方針を定めている大学数		
		学部ごとの入学者受入方針を定めている大学・学部数		学部数
		大学数	学部数	
大学	国立	82 (100.0)	81 (98.8)	375 (98.4)
	公立	80 (100.0)	80 (100.0)	173 (100.0)
	私立	579 (100.0)	577 (99.7)	1,618 (99.0)
	計	741 (100.0)	738 (99.6)	2,166 (99.0)

○入学者受入方針の明確化の状況

区分		求める学生像だけでなく、高等学校段階で習得しておくべき内容・水準を具体的に定めている大学数
大学	国立	58 (70.7)
	公立	27 (33.8)
	私立	231 (39.9)
	計	316 (42.6)

文部科学省大学入試室調べ

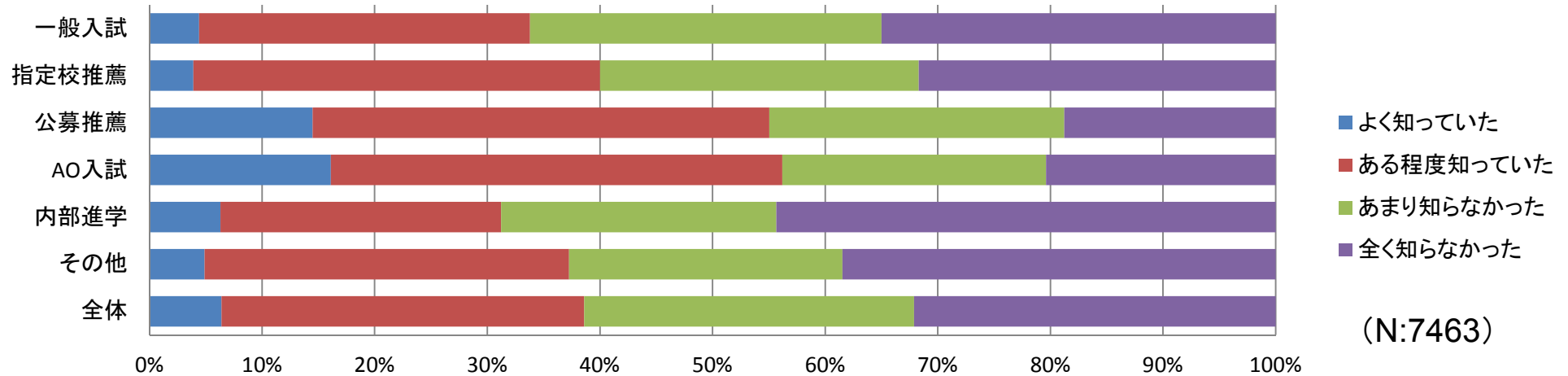
○学校教育法施行規則第七十二条の二(平成22年6月改正、平成23年4月施行)

大学は、次に掲げる教育研究活動等の状況についての情報を公表するものとする。

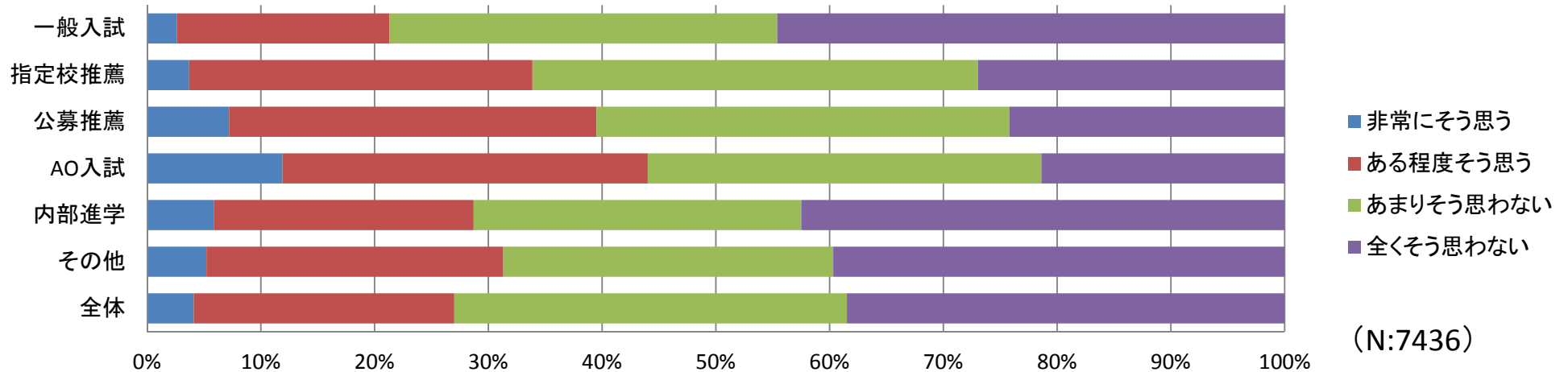
- 一 大学の教育研究上の目的に関すること
 - 二 教育研究上の基本組織に関すること
 - 三 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること
 - 四 入学者に関する受入方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること
 - 五 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること
 - 六 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たつての基準に関すること
 - 七 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること
 - 八 授業料、入学料その他の大学が徴収する費用に関すること
 - 九 大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること
- 2 大学は、前項各号に掲げる事項のほか、教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報を積極的に公表するよう努めるものとする。
 - 3 第一項の規定による情報の公表は、適切な体制を整えた上で、刊行物への掲載、インターネットの利用その他広く周知を図ることができる方法によつて行うものとする。

アドミッション・ポリシーに対する学生の受け止め

入学者のアドミッションポリシーの認知度



アドミッション・ポリシーを重視して大学を選んだか



高等学校段階までの学習で身につけてほしいこと(数学の例※)

東京大学を志望する皆さんには、アドミッション・ポリシーにも明示されているように、本学に入学するまでに、できるだけ多くのことを、できるだけ深く学んでほしいと思います。以下、本学を受験しようと考えている皆さんに向けて、高等学校段階までの学習において、特に留意してほしいことを教科別に掲げます。

※数学のほか、国語、地理歴史、公民、理科、外国語について掲げられている。

数 学

数学は、自然科学の基底的一分野として、人間文化の様々な領域で活用される学問であり、科学技術の発展に貢献するだけでなく、社会現象を客観的に表現し予測するための手段ともなっています。そのため、東京大学の学部前期課程(1, 2年生)では、理科各類の全学生が解析・代数を必修科目として履修し、文科各類の学生も高度な数学の授業科目を履修できるカリキュラムが用意されています。

本学に入学しようとする皆さんは、入学前に、高等学校学習指導要領に基づく基本的な数学の知識と技法を習得しておくことはもちろんのことですが、将来、数学を十分に活用できる能力を身につけるために、次に述べるような総合的な数学力を養うための学習を心掛けてください。

1) 数学的に思考する力

様々な問題を数学で扱うには、問題の本質を数学的な考え方で把握・整理し、それらを数学の概念を用いて定式化する力が必要となります。このような「数学的に問題を捉える能力」は、単に定理・公式について多くの知識を持っていることや、それを用いて問題を解く技法に習熟していることとは違います。そこで求められている力は、目の前の問題から見かけ上の枝葉を取り払って数理としての本質を抽出する力、すなわち数学的な読解力です。本学の入学試験においては、高等学校学習指導要領の範囲を超えた数学の知識や技術が要求されることはありません。そのような知識・技術よりも、「数学的に考える」ことに重点が置かれています。

2) 数学的に表現する力

数学的に問題を解くことは、単に数式を用い、計算をして解答にたどり着くことではありません。どのような考え方に沿って問題を解決したかを、数学的に正しい表現を用いて論理的に説明することです。入学試験においても、自分の考えた道筋を他者が明確に理解できるように「数学的に表現する力」が重要視されます。普段の学習では、解答を導くだけでなく、解答に至る道筋を論理的かつ簡潔に表現する訓練を十分に積んでください。

3) 総合的な数学力

数学を用いて様々な課題を解決するためには、数学を「言葉」や「道具」として自在に活用できる能力が要求されますが、同時に、幅広い分野の知識・技術を統合して「総合的に問題を捉える力」が不可欠です。入学試験では、数学的な思考力・表現力・総合力がバランスよく身につけているかどうかを判断します。

アドミッション・ポリシーに基づいて大学が求める能力を明示している例 (筑波大学アドミッションセンター入試)

アドミッションセンター入試(AC入試)とは

この入試で求める学生は、

問題解決能力を身につけた、活動的な人です。問題解決能力とは、問題意識を持って、自ら学び、自ら考え、よりよく問題を解決する資質や能力のことです。

この入試は、

書類選考と面接・口述試験によって、受験生を多面的・総合的に評価する自己推薦型の入試です。ペーパーテスト型の入試、学校推薦型の入試とは異なる観点から評価を行います。

この入試では、大学で学ぶために必要な適応性を自ら提案することが求められます。これまでに自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断して、取り組んできたことを、自己推薦書で提示してください。そこから読み取れる問題解決能力を重視して、選抜を行います。

高校卒業予定者、既卒者、高校を卒業してから何年か社会で活躍した人など、大学入学資格を持つ人を広く対象としています。

また、この入試では筑波大学で学びたいという強い意欲をもった人を求めています。筑波大学をよく理解し、自分の目的に合致する学群・学類を選択できるよう、受験相談の窓口を開設していますので、筑波大学やAC入試についてもっと知りたい方は、気軽に相談してください。

アドミッションポリシー

【アドミッションセンター入試の全般】

志願者の最近二年間、又はそれ以上の長期にわたる継続的な取り組みから「問題解決能力」を評価します。

この入試の合格者にふさわしい志願者がいないと判断した場合は、募集人員どおりに合格者を決定することはせずに、前期日程個別学力検査等の募集人員によって、その人員を充足します。

(以下の各学類・専門学群のアドミッション・ポリシーと併せて評価します。)

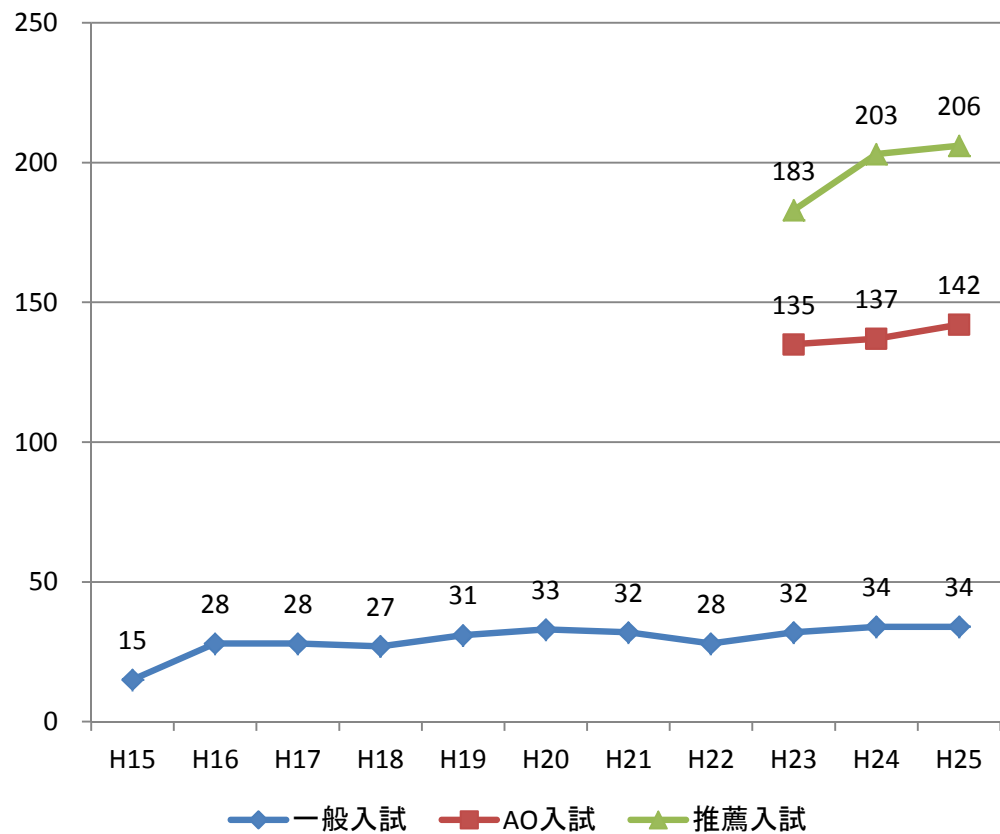
(抄)

【理工学群工学システム学類】

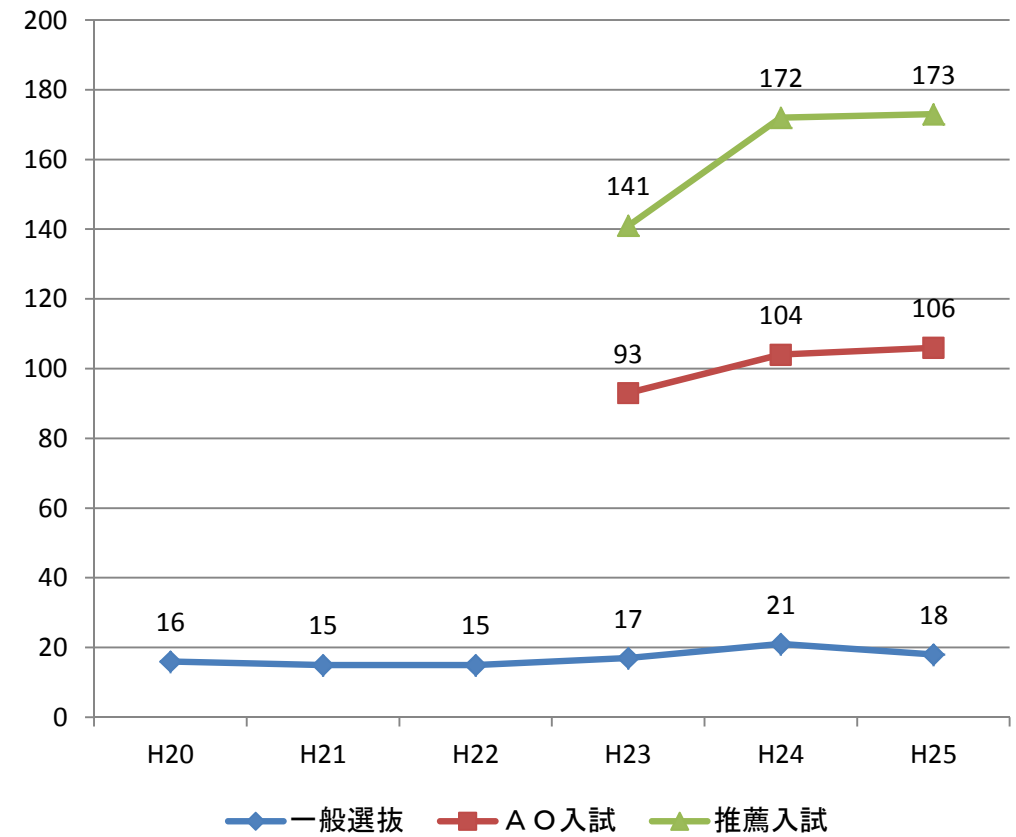
本人からアピールされた、今までの経験、あるいは、ものに継続的に取り組む態度、論理的な文章を作成する能力、数学的思考能力、コミュニケーション能力に基づいて、技術者になるという明確な目的意識、ならびに、興味の広さと深さ、積極性、行動力、表現力を評価します。

大学入学者選抜における資格・検定試験等の活用状況(推移)

<語学関連>
(大学数)



<語学以外>
(大学数)



文部科学省大学入試室調べ

1. 語学関係(英語)

実用英語技能検定、TOEFL、TOEIC、IELTS、国際連合公用語英語検定、ケンブリッジ大学一般英語検定、GTEC、日商ビジネス英語検定、全商英語検定、工業英語能力検定、全工・リスニング英語検定 等

2. 語学関係(英語以外)

実用フランス語技能検定試験、フランス国民教育省認定フランス語資格試験(DELTA、DALF)、ドイツ語技能検定試験、スペイン語技能検定、スペイン語検定試験(DELE)、ロシア語能力検定試験、実用中国語技能検定試験、中国語コミュニケーション能力検定、中国語検定試験、漢語水平考試(HSK)、ハングル能力検定試験、韓国語能力試験 等

3. その他

全商各種検定(情報処理、商業経済等)、実用数学技能検定、経産省ITパスポート試験、秘書技能検定、全工各種検定(情報技術、パソコン利用技術等、ジュニアマイスター顕彰)、日商各種検定(販売士、PC、珠算等)、全経簿記能力検定試験、語彙・読解力検定、マイクロソフトオフィススペシャリスト、パソコン検定、情報検定、珠算能力検定、全珠連珠算検定、歴史能力検定、世界遺産検定、ヤマハ音楽能力検定、食物調理技術検定、調理師免許 等

ジュニアマイスター顕彰制度

＜主催＞全国工業高等学校長協会

＜目的＞資格の取得や競技会等での成果を表彰することにより、生徒の意欲と技術・技能の向上を目的とする。

＜顕彰の方法＞主に工業教育に関わる資格、競技会、コンクール等200項目程度を選定し、その難易度や重要度を点数化し、表(区分表)を作成。

30点以上にはジュニアマイスターシルバー

45点以上にはジュニアマイスターゴールド

の称号を外部委員からなる認定委員会が学校長から申請のあった生徒に対し付与する。

＜主な資格や競技会＞

ランク	ポイント	主な資格や競技会	
S	30	電気主任技術者3種	高校生ものづくりコンテスト全国大会1位
A	20	各職種技能士2級	若年者ものづくり競技大会1位
B	12	品質管理検定2級	
C	7	電気工事士2種	高校生ものづくり県大会優勝
D	4	危険物取扱者乙種4類	高校生ものづくり大会県大会入賞
E	2	アマチュア無線技士3級	各種技能系競技会県大会入賞
F	1	ガス溶接等技能講習	

校長会等が実施する検定試験

実施団体等	No.	検定名	段級位等	検定日
日本農業技術検定協会	1	日本農業技術検定	1, 2, 3級	7月, 12月
(公社)全国工業高等学校長協会	1	標準テスト	—	2月
	2	計算技術検定	1, 2, 3, 4級	6月, 11月
	3	情報技術検定	1, 2, 3級	1月, 6月
	4	基礎製図検定	—	9月
	5	パソコン利用技術検定	1, 2, 3級	7月, 12月
	6	機械製図検定	—	6月
	7	リスニング英語検定	1, 2, 3級	10月
	8	初級CAD検定	—	7月
	9	グラフィックデザイン検定	1, 2, 3級	1月
(公財)全国商業高等学校協会	1	ビジネス文書実務検定試験	1, 2, 3, 4級(速記部門について、5段～初段の段位認定あり)	6月, 11月, 2月
	2	情報処理検定試験	1, 2, 3級	1月, 9月
	3	珠算・電卓実務検定試験	1, 2, 3, 4, 5, 6級	6月, 11月
	4	簿記実務検定試験	1, 2, 3級	1月, 6月
	5	英語検定試験	1, 2, 3, 4級	9月, 12月
	6	商業経済検定試験	1, 2, 3級	2月
	7	会計実務検定	財務諸表論、財務諸表分析	10月
	8	ビジネスコミュニケーション検定試験	—	7月
全国水産高等学校長協会	1	高等学校水産海洋技術検定	—	1～2月
	2	高等学校漁業技術検定	—	7～9月, 12～2月
	3	高等学校通信技術検定	—	1月
	4	高等学校海洋情報技術検定	1, 2級	2月, 7月
	5	高等学校栽培漁業技術検定	1, 2級	6月, 12月
	6	高等学校潜水技術検定	上, 1, 2, 3級	7～8月, 11～12月
	7	高等学校食品技能検定	1, 2, 3類	1月, 7月
	8	HACCP基本技能検定	—	1月, 7月
	9	高等学校エンジン技術検定	1, 2級	7～8月, 12～2月
(公財)全国高等学校家庭科教育振興会	1	全国高等学校家庭科技術検定(被服)	1, 2, 3, 4級	6月, 11月
	2	全国高等学校家庭科技術検定(食物)	1, 2, 3, 4級	6月, 11月
	3	全国高等学校家庭科保育技術検定	1, 2, 3, 4級	6月, 10月

※看護、福祉、情報については、校長会等が実施する検定試験はないが、それぞれ関係の国家資格や国家試験等を目指している。

校長会等が実施する生徒の発表大会等

実施団体等	No.	大会等名	種類等	開催月
日本学校農業クラブ連盟	1	日本学校農業クラブ全国大会	プロジェクト発表会、意見発表会、平板測量競技会、農業鑑定競技会	10月
(公社)全国工業高等学校長協会	1	全国高等学校ロボット競技大会		11月
	2	高校生ものづくりコンテスト全国大会	旋盤作業、自動車整備、電気工事、電子回路組立、化学分析、木材加工、測量	11月
	3	高校生ロボット相撲全国大会		11月
	4	高校生技術・アイデアコンテスト		1月
	5	高校生ロボットアメリカンフットボール全国大会		2月
	6	マイコンカーラリー		1月
	7	全国製図コンクール		12月
全国商業高等学校長協会	1	全国高等学校簿記コンクール		7月
	2	全国高等学校情報処理競技大会		7月
	3	全国高等学校珠算・電卓競技大会		8月
	4	全国高等学校ワープロ競技大会		8月
	5	全商プログラミング・コンテスト		9月
	6	全国高等学校生徒商業研究発表大会		11月
	7	全国商業高等学校英語スピーチコンテスト		1月
全国水産高等学校長協会	1	全国水産・海洋高等学校ダイビング技能コンテスト		8月
	2	全国水産・海洋高等学校生徒研究発表大会		12月
	3	全国水産・海洋高等学校カッターレース大会		7月
	4	全国水産・海洋高等学校食品技能コンテスト全国大会		7月
	5	全国水産・海洋高等学校フィッシング技能コンテスト		7月
全国高等学校家庭クラブ連盟	1	全国高等学校家庭クラブ研究発表大会	ホームプロジェクト、学校家庭クラブ活動	8月

国際バカロレアの活用例(平成26年度入試)

1. 玉川大学「国際バカロレアAO型入学審査」

【実施学部(募集人員)】全学部(若干名)

【出願要件】

玉川大学を第一志望(専願)とし、国際バカロレア資格を2013年4月から2014年3月31日までに取得または取得見込みの者(ただし、2014年3月31日までに18歳に達していること)。なおかつ、日本語を母語とする者またはJapaneseBをHLで履修し、成績評価が4以上の者。

【出願に必要な書類】

- ①コミュニケーションシート 受験者の意思を確認する独自の対話形式により構成
- ② EVALUATION FORM カレッジカウンセラーまたはDPコーディネーターが作成。人物的特徴の判断に使用。
- ③ 国際バカロレア資格証書のコピー ④ IB最終試験成績証明書 ⑤高等学校調査書[もしくは成績証明書と卒業(卒業見込)証明書]
- ⑥ 各種資格・検定取得の証明書の写し(指定する検定等に該当する者のみ)

【選抜方法】書類審査

2. 岡山大学「国際バカロレア入試(AO入試)」(4月入学)

【実施学部(募集人員)】理学部、医学部、工学部、環境理工学部、農学部、マッチングプログラムコース(いずれも若干名)

【出願要件】

- (1)国際バカロレア資格証書(IBフルディプロマ)を平成25年4月から平成26年3月までに授与される者で、平成26年3月31日までに18歳に達するもの
- (2)国際バカロレア資格の取得において、次の①および②に該当する者
 - ①言語Aを日本語により履修し、成績評価が4以上の者
 - ②岡山大学が指定する科目(1~2科目)を指定のレベルにより履修し、必要な成績評価を修めた者
- (3)岡山大学での勉学を強く希望し、最終の選抜に合格した場合には必ず入学することを確約できる者

【出願に必要な書類】

＜IB試験を受験した者＞

- ①国際バカロレア資格証書の写し ②IB最終試験6科目の成績証明書(本紙) ③自己推薦書 様式有り。
- ④評価書 学校長、進路指導担当者又は日本語の担当教員が作成。様式有り。

＜IB試験受験予定者＞

- ①国際バカロレア資格の取得見込み証明書(様式任意) ②IBディプロマPredicted Grades若しくはAnticipated Grades ③自己推薦書 様式有り。
- ④評価書 学校長、進路指導担当者又は日本語の担当教員が作成。様式有り。

【選抜方法】

学部等により、①書類審査 ②書類審査および面接審査 の選抜方法のどちらかを採用。

多面的・総合的な選抜を行っている例(平成26年度入試)

1. 東北大学工学部:AO入試Ⅱ期(募集人員:104名)

- ・出願要件として高等学校の教科の評定平均値(理数系教科4.5且つ全体4.0以上)を要求
- ・出願書類(210点)、小論文試験(240点)、面接試験(150点)を総合的、多面的に評価(計600点満点)
- ・志願者数が募集人員を大幅に上回る場合は、出願書類による第1次選抜を実施
- ・出願書類として活動報告書(主要な活動の経歴、成果等を志願者が作成、記載事項確認者が確認)、志願者評価書(出身(在学)学校長が作成)、志望理由書の提出を要求

2. 慶應義塾大学総合政策学部・環境情報学部:自由応募入試 A方式(募集人員:各学部100名(他の方式と合算))

- ・出願書類をもとに第1次選抜を実施
- ・出願書類として志願者評価(志願者を客観的に知る立場にある者2名が作成)、活動報告(中学卒業後から出願に至るまでの学業・学業外の活動内容について志願者が作成。出願要件の判断に使用。)、志望理由・入学後の学習計画・自己アピール(志望理由とともに文章と自由記述を用いて自由に表現)、任意資料(所定の資料だけでは表現しきれないもので、選考にあたり有用と判断した資料)を要求
- ・第2次選抜で面接試験(30分、うち7分をプレゼンテーションとして使用可)を実施し、第1次選抜の評価と合わせて総合判定

3. 九州大学21世紀プログラム:AO入試(募集人員:26名)

- ・出願書類をもとに第1次選抜を実施
- ・出願書類として活動歴報告書(中学時代から出願時までに取り組んだ学校での勉学以外の各種活動等について記述したものを志願者が作成)、志望理由書を要求
- ・第2次選抜で講義(3講義、各約50分)に関するレポート(各約70分)と討論(150分)、小論文(約270分)及び面接(約15分)を課し、提出書類の内容と合わせて総合判定

○出願書類の例1(東北大学)

東北大学A〇入試Ⅱ期

志願理由書

志願者全員提出

※

※印の欄は記入しないでください。

志願者氏名 (フリガナ)	志望学部 学部	志望系・学科 (理学部・工学部志願者のみ記入) 系・学科
-----------------	------------	------------------------------------

1

5

10

15

20

25

(注) 志望学部を志願する理由について、勉強したい学問分野、希望する進路、これまで熱中したことなどと関連させて、800字程度で記述してください。(鉛筆書きは不可)

※ 本書類は、本学ウェブサイトから様式をダウンロードすることができます。

(様式掲載アドレス <http://www.tnc.tohoku.ac.jp/>)

自筆又はダウンロードした様式に文字入力して作成したものを提出してください。

文字入力して作成する場合は、必ず両面印刷してください。

東北大学A〇入試Ⅱ期

志願者評価書

(高等学校等に作成いただきます。)

※

※印の欄は記入しないでください。

平成 年 月 日

東北大学総長 殿

学校名

学校長名

職印

作成者

職名

氏名

印

所在地 〒

電話番号

() (-) ()

下記の者を、貴学のA〇入試Ⅱ期志願者として責任をもって評価します。

1 志願者氏名等

フリガナ	性別	生年月日	平成 年 月 日
氏名	男・女	平成 年 月 日生	卒業(修了)見込

2 志望学部等

志望学部	志望系・学科 (理学部・工学部志願者のみ記入してください。)
学部	系・学科

3 入学意志の確認

この学生募集〔東北大学A〇入試Ⅱ期〕は、志願者が東北大学での勉学を強く志望し、合格した場合は必ず入学することを出願の要件としています。その旨を志願者に確認してください。確認後、下欄の□にチェックしてください。

← 東北大学での勉学を強く志望し、合格した場合は、必ず入学することを確認した。

4 所見 (全学部とも記入してください。なお、志望学部が文学部、工学部の場合は、学業における所見を記入してください。)

5 人物所見 (志望学部が文学部、工学部の場合のみ記入してください。)

(ア) 志願者の能力・素質 (理解力・自発性・想像力・計画性・直感力・理論性など)

(イ) 志願者の性格・行動 (自主性・持続性・向上心・責任感・好奇心・公共心など)

文字入力して作成する場合は、必ず両面印刷してください。

東北大学AO入試Ⅱ期

工学部志願者のみ提出

※

※印の欄は記入しないでください。

活動報告書

東北大学 院長 殿

記載のとおり相違ありません。

平成 年 月 日

志願者氏名

(姓 名 フリガナ) _____
(生年月日 平成 年 月 日 性別 男・女)

記載事項確認者氏名

(志願者や指導者作成者と同じくご記入ください)

出願基準を参考にして、部活動、各種コンテスト、コンクール、競技会、懸賞論文等への取り組み、資格の取得など、現在までにあなたが達成した主な活動実績を最大5件まで選択し、あなたにとって重要度の高いものから順に記載してください（自筆又は本学ウェブサイトからダウンロードした様式に文字入力。鉛筆書きは不可）。活動の成果や取得した資格等を示すもの（表彰状、新聞等の記事、論文、英検、TOEFL、TOEIC等の成績証明書、各種資格取得証明書等。いずれも写し（A4判）にて可。書式自由）がある場合は、資料番号欄に記入した番号を付し、本報告書に添付してください。

■ 活動実績1

名 称 _____

活動の時期 _____

概要の説明 _____

資料番号 _____

■ 活動実績2

名 称 _____

活動の時期 _____

概要の説明 _____

資料番号 _____

■ 活動実績3

名 称 _____

活動の時期 _____

概要の説明 _____

資料番号 _____

■ 活動実績4

名 称 _____

活動の時期 _____

概要の説明 _____

資料番号 _____

■ 活動実績5

名 称 _____

活動の時期 _____

概要の説明 _____

資料番号 _____

裏面につづく

米国大学における入学者選抜の例

1. ペンシルバニア州立大学(ユニバーシティパーク校)

- ・ 志願者47,552名、合格者25,722名(54.1%)、入学者7,650名(2012年)
- ・ 6年以内での卒業率86%

[出願要件等]

- ・ 高校において英語(4単位)、数学(3)、科学(3)、社会科学(3)、外国語(2)を含む合計15単位以上の修得が必要。
- ・ アドバンスト・プレイズメント(AP)や国際バカロレア(IB)等を含む大学進学予備プログラムの修得を推奨。

[出願書類等]

- ・ SAT又はACTの成績、高校の成績証明書、大学独自の願書(エッセイを含む)

[合否判定方式]

- ・ 高校の成績を2/3、SAT又はACTの成績を1/3の比重で得点化し、一定の基準以上の者を合格判定。
- ・ 高校の成績の評価においてAPやIB等の成績があれば加味。
- ・ 高校の成績の学校間格差の調整は行わず。
- ・ SAT等の成績よりも高校の成績を重視するのは、
 - ①1日の試験の結果より長い時間をかけて得たものを重視
 - ②裕福な家庭の子弟はSAT等の準備コースに入り対策を講じており、SAT等の成績は家庭の経済状況の影響を受けることなどが理由。
- ・ 優等学位プログラムや医学特別進学課程を希望する入学志願者の場合は、エッセイや教師の評価書、奉仕活動の経験等も加味して合否判定。

2. ブラウン大学(私立)

- ・ 志願者28,742名、合格者2,759名(9.6%)、入学者1,539名(2012年)
- ・ 6年以内での卒業率95%

[出願要件等]

- ・ 高校において、英語(4単位)、数学(4)、科学(4(実験科学3を含む))、歴史(2)、外国語(4)、音楽・美術(1)、その他(1)を含む20単位以上の修得を推奨。

[出願書類等]

- ・ SAT又はACTの成績(SAT II 2科目を含む)、高校3年生前期の成績、高校の内申書、教師の評価書(2名分)、大学共通願書、大学独自の願書(エッセイを含む)

[合否判定方式]

- ・ SAT又はACTの成績、高校の成績、エッセイ、教師の評価等を総合的に判断(それぞれの得点化はしない)。
- ・ 個々の選抜資料についての明確な重み付けは設定されておらず、3人の職員それぞれが合否を総合的に判断。最終的には、この評価を参照しつつ20名で構成される委員会における投票によって合否を決定。
- ・ 高校における履修科目のレベルの高さ、アドバンスト・プレイズメント(AP)や国際バカロレア(IB)等を含む大学進学予備プログラムの成績を最重要視。
- ・ SAT等は家庭の経済状況の影響を受けることも審査の際に考慮。
- ・ 学生集団の多様性確保には配慮(ただし特別の基準、枠等は設けず)。

3. シカゴ大学(私立)

- ・ 志願者25,268名、合格者3,340名(13.2%)、入学者1,527名(2012年)
- ・ 6年以内での卒業率92%

[出願要件等]

- ・ 高校において大学準備プログラムの英語(4単位)、数学(3又は4)、実験科学(3又は4)、社会科学(3以上)、外国語の修得を推奨。

[出願書類等]

- ・ SAT又はACTの成績(SAT II 不要)、大学共通願書、大学独自の願書(エッセイを含む)、学業成績証明書、教師の評価書(2名分)、高校の内申書

[合否判定方式]

- ・ エッセイ、推薦書、学業成績証明書、課外活動の記録、SAT又はACTのスコア等、志願者の提出書類を包括的に審査

(合否判定項目の重要度)

	非常に重要	重要	考慮対象
人物/個人的資質	○		
推薦書	○		
高校クラスの順位		○	
課外活動		○	
SAT/ACTスコア		○	
ボランティア経験			○
就労経験			○

4. ハーバード大学(私立)

- ・ 志願者34,303名、合格者2,076名(6.1%)、入学者1,664名(2012年)
- ・ 6年以内での卒業率97%

[出願要件等]

- ・ アドバンスド・プレイスメント(AP)や国際バカロレア(IB)等を含む大学進学予備プログラムの修得を推奨。
- ・ 高校において、英語(4単位)、数学(4)、科学(4)、社会科学(3)、歴史(2)、外国語(4)を含む21単位以上の修得を推奨。

[出願書類等]

- ・ SAT又はACTの成績(SAT II 2科目を含む)、高校3年生前期の成績、高校の内申書、教師の評価書(2名分)、大学共通願書(エッセイを含む)、大学独自の願書

[合否判定方式]

- ・ SAT又はACTの成績、高校の成績、教師の評価等を総合的に判断(それぞれの得点化はしない)。
- ・ 個々の選抜資料についての明確な重み付けは設定されていないが、高校の成績、教師による評価、SAT/ACTの得点の順で重要とされる。
- ・ 教師による評価では、主に学習への姿勢、他の学生との関わり方、運動能力・芸術など得意な才能についての情報を重視。
- ・ 2名の職員による評価を経て、数名からなる小委員会で合否の仮決定を行い、最終的に30名の全職員による委員会で投票により決定。

○SATにおける受験生情報の提供

米国における大学入学者選抜の際の共通テストであるSATにおいては、本人が希望する大学に対して、テスト・スコアに加えて以下の受験生情報が提供されている。この情報は各大学と受験生とのマッチングを図る際の有効な情報として一般に活用されている。

(主な記入内容)

高校での履修科目、科目別成績、GPA、クラス内順位、高校・地域での活動歴(役職への就任、受賞経験等を含む)、スポーツ歴、希望する進学先の大学のタイプ・希望する専攻、アドバンスト・プレイスメント・テスト受験意思、補習教育の希望、入学後のクラブ活動希望、奨学金希望、入学後のアルバイトの希望、1年次の希望する居住形態、人種、英語以外の言語能力、米国市民権の有無、宗教、障害・疾病の有無、数学・科学・ライティングの能力自己評価、両親学歴、両親の年収

○コモン・アプリケーションにおける受験生情報

全米の500大学以上が採用しているオンラインによる出願のためのシステム。共通のフォーマットに必要事項を記入し、志願する大学に提出する。

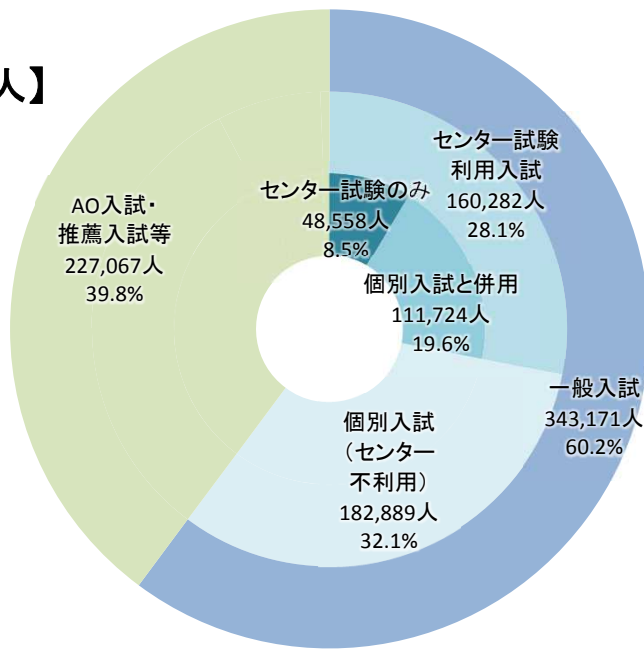
(主な記入内容)

入学時期(秋、春)、関心のある学問分野、奨学金希望、入寮希望、取得希望学位、米国市民権の有無、出生地、米国在住期間、言語能力、人種、両親の学歴・職業、高校の履修科目・成績、GPA、ACT/SATの成績、TOEFL/IELTSの成績、AP/IB/SATsubjectsの成績、課外活動歴(役職への就任、受賞経験等を含む)、エッセイ

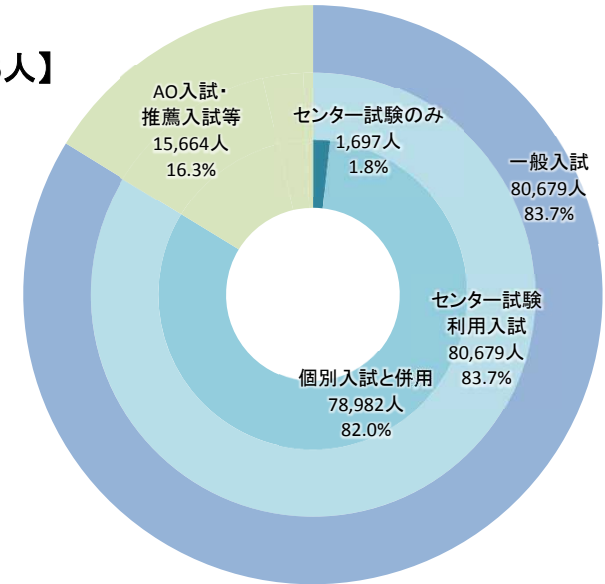
大学入試センター試験のみで合否判定を行う大学入試の状況(平成22年度入試)

国公立大学(全731大学)のうち、651大学(全大学の89.1%)がセンター試験利用入試を行い、うち、501大学(全大学の68.5%)がセンター試験のみで合否判定を行っているものの、募集人員は少ない。

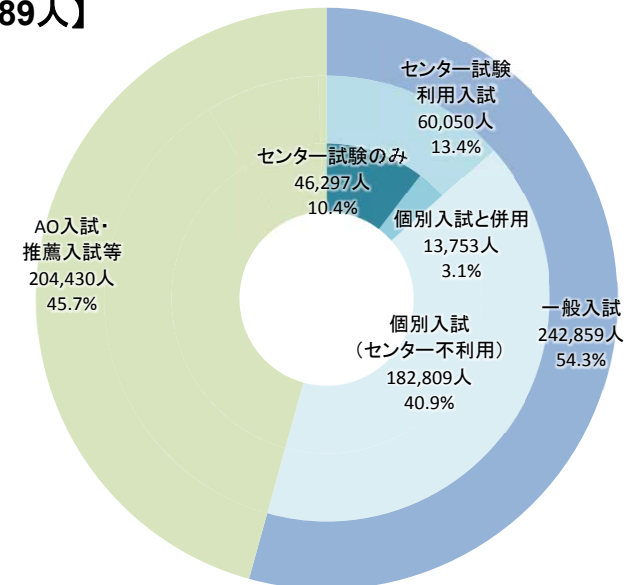
国公立計
【募集人員:570,238人】



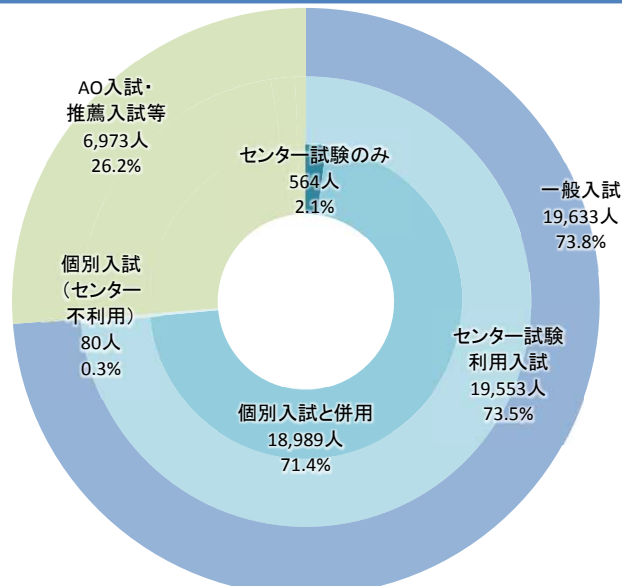
国立大学
【募集人員:96,343人】



私立大学
【募集人員:447,289人】



公立大学
【募集人員:26,606人】



注)平成22年度から公立化した静岡文化芸術大学、名桜大学は、私立大学に含む。

国公立大学におけるセンター試験の活用方法（平成26年度入試）

1. センター試験を資格試験的に活用している大学

○大学数

	一般入試	AO入試	推薦入試
国立	2	7	7
公立	0	2	4

○実施例

・長崎大学水産学部(一般入試【前期】):

5教科7科目の合計点が900点満点中450点以上の者を第1段階選抜の合格者とし、最終的な合否判定には利用しない。

・信州大学理学部(AO入試):

第2次選抜までの合格者のうち、5教科7科目(900点満点に換算)の成績が450点以上の者を最終合格者とする。

・新見公立大学看護学部(推薦入試):

指定する科目(5教科5科目)の合計点(700点満点)が、各科目全国平均点の合計点の95%以上を合格の基準とする。

2. センター試験の複数年度利用※を認めている大学

○大学数

※平成14年度試験～過去1年分、平成22年度試験～過去3年分の成績を大学の希望に応じて利用を可能としている。

	一般入試	AO入試	推薦入試
国立	0	1	0
公立	1	0	0